

より高く 挑み続ける

悔しさをバネに日本一

一条中学校 渡邊 里咲さん

8月に行われた、全日本中学校陸上競技選手権の女子走り高跳びで、県中学新記録を樹立し、見事に優勝した渡邊さん。「順位や他の選手を気にすることなく、集中して競技に臨むことができた。表彰台に登り、初めて実感が湧いた」と振り返ります。



渡邊さんが、陸上を始めたのは小学校5年生の時。「テレビで見る陸上選手に憧れ、陸上をやりたいと思っていた」と競技に打ち込むと、6年生の時には、走り高跳びで全国大会優勝を成し遂げました。順風満帆に見える渡邊さんですが、

「中学生になると、小学生の時とは違う跳び方になる。その習得に苦労し、なかなか思うように跳べなかった」と話します。しかし、「やるなら一番になりたい」と3年間練習に打ち込み、今回の快挙につながりました。

「練習をすると毎回いろいろな発見があるので楽しい。自分の跳び方にはまだまだまだ納得していないので、もっと追及していきたい」と、日々研究を重ねる渡邊さん。「走り高跳びは自分の唯一自慢できること」と笑顔で話します。

「優勝決定後も、一人で記録に挑戦するので、必ず最後は失敗で終わる。その悔しさがあるからさらに上を目指したいと思える。まずは、日本で確実に勝てる選手になって、それから世界に挑みたい」と、力強く話す渡邊さんの活躍から、ますます目が離せません。

## 今回のゲスト



ジャネット ロックさん (アメリカ)

アメリカオレゴン州出身。17年前から日本に在住。現在は、市内で通訳・翻訳・英語指導の仕事に携わる。納豆、すし、天ぷらなど、日本食は何でも好き。餃子は、焼餃子がカリカリしていて好きです。



シェティ ラクシットさん (インド)

インドムンバイ出身。昨年より市内に在住し、自動車会社でエンジニアとして勤務。趣味は絵描きとエレキギター。日本に来て好きになった食べ物は、唐揚げ、ラーメン、餃子。



外国人の皆さんに宇都宮のイイトコを訪れてもらいました

## 今回のテーマは「餃子」

今回、私たちが訪れたのは来らっせ本店（馬場通り2丁目）。こちらでは、宇都宮餃子会に加盟しているお店のうち、日替わりで30店舗以上の味が楽しめる「日替わり店舗」と、5店舗の味が楽しめる「常設店舗」があります。鈴木章弘さん（宇都宮餃子会理事兼事務局長）からお話を聞きながら、3種類の焼餃子を楽しみました。

それぞれの餃子は、形や大きさも少しずつ違うし、具の材料や分量も、皮の厚みも違ってきます。また、皮の厚みが同じでも、水の分量や焼き加減によって食感が変わってきます。それぞれのお店の特徴を知り、宇都宮餃子の奥深さを感じました。また、餃子の重さや皮の厚みをきちんと量っていると知り、細かい作業にびっくりするとともに、お店ごとに形が統一されたきれいな餃子に、芸術性を感じました。

友達や家族が遊びに来たら、ぜひ宇都宮餃子をお勧めしたいと思います。皆さんもお気に入りの餃子を見付けに、出掛けてみませんか。



1 鈴木章弘さんより説明を受ける 2 宇都宮みんみんの焼餃子



3 幸楽の焼餃子 4 鶏の木のまんまる餃子。鶏の木のまんまる餃子は通常来らっせでは提供していません。

「餃子」について、11月12日(日)午前10時30分～10時40分、とちぎテレビ「教えてイイトコUTSUNOMIYA」(再放送)で放送します(48ページ参照)。併せてご視聴ください。

◎宇都宮准看護高等専修学校生徒募集 ▽試験日 12月5日(火) ▽試験会場 宇都宮准看護高等専修学校(竹林町) ▽試験内容 学科試験(国語・一般教養)・作文・面接 ▽対象 中学校を卒業した(卒業見込みを含む)、またはこれと同等以上の学力があると認められる、心身ともに健康で勉学意欲のある人 ▽申込期間 11月20日～12月1日 ▽合格発表 12月19日午前9時 ▽その他 申し込み方法など、詳しくは、宇都宮准看護高等専修学校 ☎(625)2216へ。